



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月10日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 有仁
 問合せ先責任者（役職名） 経理財務本部長（氏名） 多木 宏行（TEL）03-5822-6170
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,275	18.7	766	591.1	728	—	588	—
29年3月期第2四半期	8,653	△1.9	110	△78.4	63	△84.5	24	△90.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第2四半期	74.18		—					
29年3月期第2四半期	3.05		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	28,557	7,551	26.4
29年3月期	28,425	7,000	24.6

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 7,551百万円 29年3月期 7,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)			—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	10.0	1,150	118.2	1,000	142.5	750	221.5	94.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日（平成29年11月10日）公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	8,143,390株	29年3月期	8,143,390株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	206,038株	29年3月期	206,037株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	7,937,352株	29年3月期2Q	7,937,423株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第2四半期累計期間の世界経済は、米国や欧州においては安定的な景気拡大が続いています。さらに、中国や新興国では総じて緩やかな回復基調が見られるものの、一部で地政学的リスクによる不透明感も生じています。一方、日本経済は、生産活動や個人消費の改善を受け、回復基調が継続しています。

このような状況のもと、当社はお客様との関係強化に努め、積極的な販売拡大、新製品の開発、コスト削減に取り組み、当第2四半期累計期間の売上高は10,275,813千円(前年同期比+1,622,489千円、+18.75%)、営業利益は766,814千円(前年同期比+655,859千円、+591.10%)、経常利益は728,659千円(前年同期+664,948千円)、四半期純利益は588,778千円(前年同期比+564,598千円)となりました。

(セグメント別の概況)

【感光性材料事業】

半導体向け感光性材料は、IoTによる電子デバイス使用量の大幅増加により、旧世代感光性材料販売が増加しました。また、データ通信量増大によるDRAMおよびフラッシュメモリーの3次元化によるレジスト需要、スマートフォン用等の先端半導体向けレジスト材料の販売はいずれも拡大しました。ディスプレイ向け感光性材料も、堅調なLCDマーケットに加え、OLEDマーケットの立ち上がりにより、販売は大幅に増加いたしました。

この結果、同事業の売上高は5,803,528千円(前年同期比+1,284,217千円、+28.42%)となりました。

【化成品事業】

化成品部門は、電子材料向け製品を中心に、販売量は堅調に推移しました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は4,472,285千円(前年同期比+338,272千円、+8.18%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は28,557,702千円となり、前事業年度末比132,589千円の増加となりました。

流動資産は12,129,782千円で、前事業年度末比664,300千円の増加となりました。これは主に現金及び預金391,084千円の増加及び受取手形及び売掛金518,254千円の増加並びに商品及び製品263,282千円の減少によるものであります。

固定資産は16,427,919千円で、前事業年度末比531,710千円の減少となりました。これは主に取得による増加517,968千円及び除売却による減少221,269千円並びに減価償却による減少834,778千円によるものであります。

流動負債は14,071,386千円で、前事業年度末比33,612千円の増加となりました。これは主に短期借入金408,000千円の増加及び1年内返済予定の長期借入金128,364千円の増加並びに役員退職慰労引当金532,118千円の減少によるものであります。

固定負債は6,934,879千円で、前事業年度末比452,147千円の減少となりました。これは主に長期借入金531,542千円の減少によるものであります。

純資産合計は7,551,436千円で、前事業年度末比551,125千円の増加となりました。これは主に四半期純利益588,778千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成29年11月10日)に公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,865,819	2,256,904
受取手形及び売掛金	3,183,272	3,701,527
商品及び製品	4,634,110	4,370,828
仕掛品	149,496	228,282
原材料及び貯蔵品	1,105,437	1,209,265
その他	530,551	366,709
貸倒引当金	△3,205	△3,734
流動資産合計	11,465,482	12,129,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,006,460	6,818,139
機械装置及び運搬具(純額)	3,348,998	3,061,309
土地	5,020,230	4,818,582
その他(純額)	683,387	832,230
有形固定資産合計	16,059,076	15,530,261
無形固定資産		
その他	366,701	357,436
無形固定資産合計	366,701	357,436
投資その他の資産		
その他	533,852	540,221
投資その他の資産合計	533,852	540,221
固定資産合計	16,959,629	16,427,919
資産合計	28,425,112	28,557,702
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,184,569	2,322,489
短期借入金	6,242,000	6,650,000
1年内返済予定の長期借入金	3,310,932	3,439,296
未払法人税等	54,560	145,513
賞与引当金	332,635	438,803
役員退職慰労引当金	532,118	—
その他の引当金	31,746	17,050
その他	1,349,212	1,058,234
流動負債合計	14,037,774	14,071,386
固定負債		
長期借入金	5,455,231	4,923,689
退職給付引当金	1,234,593	1,277,978
役員退職慰労引当金	65,617	57,319
その他	631,585	675,892
固定負債合計	7,387,026	6,934,879
負債合計	21,424,801	21,006,265

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,883,578	4,432,670
自己株式	△88,968	△88,970
株主資本合計	6,955,088	7,504,178
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43,604	47,257
繰延ヘッジ損益	1,617	—
評価・換算差額等合計	45,222	47,257
純資産合計	7,000,311	7,551,436
負債純資産合計	28,425,112	28,557,702

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,653,323	10,275,813
売上原価	7,228,944	8,085,384
売上総利益	1,424,379	2,190,429
販売費及び一般管理費	1,313,423	1,423,614
営業利益	110,955	766,814
営業外収益		
受取利息	277	413
受取配当金	3,822	4,254
為替差益	—	14,452
受取家賃	18,085	9,249
生命保険配当金	9,113	1
補助金収入	135,094	529
その他	21,536	11,437
営業外収益合計	187,931	40,338
営業外費用		
支払利息	94,472	73,532
為替差損	132,530	—
その他	8,172	4,960
営業外費用合計	235,176	78,493
経常利益	63,710	728,659
特別利益		
固定資産売却益	—	153,814
特別利益合計	—	153,814
特別損失		
固定資産除却損	257	7,793
特別損失合計	257	7,793
税引前四半期純利益	63,453	874,680
法人税、住民税及び事業税	16,782	119,733
法人税等調整額	22,490	166,168
法人税等合計	39,273	285,901
四半期純利益	24,180	588,778

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	63,453	874,680
減価償却費	786,548	834,778
引当金の増減額(△は減少)	△35,446	△405,030
受取利息及び受取配当金	△4,100	△4,667
支払利息	94,472	73,532
固定資産除却損	257	7,793
補助金収入	△135,094	△529
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△153,814
売上債権の増減額(△は増加)	427,859	△518,254
たな卸資産の増減額(△は増加)	19,956	80,667
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,029	137,919
未払又は未収消費税等の増減額	40,728	61,729
その他	25,796	155,254
小計	1,242,402	1,144,060
利息及び配当金の受取額	4,100	4,673
利息の支払額	△94,856	△64,996
保険金の受取額	32,117	—
補助金の受取額	1,332	529
法人税等の支払額	△198,487	△56,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	986,608	1,027,646
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△395,738	△512,912
無形固定資産の取得による支出	△20,126	△7,642
投資有価証券の取得による支出	△357	△364
子会社の清算による収入	52,993	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366,228	△520,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	544,000	408,000
長期借入れによる収入	1,250,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,961,940	△1,603,178
リース債務の返済による支出	△48,261	△77,223
配当金の支払額	△39,483	△39,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255,684	△111,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,080	△3,693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	340,615	391,084
現金及び現金同等物の期首残高	917,651	1,453,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,258,266	1,844,904

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,519,310	4,134,013	8,653,323	—	8,653,323
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	112,192	112,192	△112,192	—
計	4,519,310	4,246,205	8,765,516	△112,192	8,653,323
セグメント利益又は損失(△)	167,840	△56,884	110,955	—	110,955

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,803,528	4,472,285	10,275,813	—	10,275,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	122,009	122,009	△122,009	—
計	5,803,528	4,594,295	10,397,823	△122,009	10,275,813
セグメント利益又は損失(△)	809,084	△42,270	766,814	—	766,814

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。